

学校紹介 魅力あふれる学校図書館に向けて

暑い夏が過ぎ、爽やかな読書の秋がやってきました。各園・学校でも読書関連の行事が設定され、学校図書館を利用する児童・生徒で活気にあふれている時期ではないでしょうか。

さて、今回紹介する三入小学校の学校図書館は、以前、休憩時間の児童来館者数が0人の日があったり、本の整頓があまりできていない様子が見受けられたりしていました。また、校内で実施したアンケートからは、児童の読書習慣が身につけていないという実態もわかりました。

こうした課題を踏まえ、本校では、児童の読書活動の充実を図るため、**居心地が良く何回も来たくなるような環境や、活用しやすく学びに役立つための環境を設定**して、学校図書館の**魅力づくり**に力を注ぎました。

今回は広島市教育センター研修「司書教諭・学校図書館担当教諭研修」(平成30年7月実施)での本校の実践発表から、上記の取組について紹介します。

来館児童、月平均
230人にアップ!



おすすめの本(校長先生) ベスト10です!



読みました!

居心地の良い環境

見せる展示



本の表紙が見えるように配架し、児童の興味・関心を高めることで、本を手に取り易くする。

(上) あまった棚板をクロスで包み、本棚の上にたてかけることで、本の表紙を見せて展示するスペースが増加。

(下) 段ボールにクロスをかけて簡単に展示棚を作成。

落ち着ける空間づくり



学校図書館の無機質な金属の手すり部分や壁などをクロスでおおい、温かい雰囲気をつくる。

コンクリートの柱にやさしい色合いのクロスを張り、手作りの樹を展示し、明るく柔らかい雰囲気をつくる。

学びやすい環境

学校図書館の雰囲気を廊下へ



児童が頻繁に通る廊下や校長室前に本棚を設置。学校図書館同様テーマに沿った配架をすることにより、図書館の雰囲気が各階の廊下でも味わえる。

学年本棚の設置・活用



(上) 国語科における並行読書の様子。

(左) 学校図書館担当者と臨時司書、担任が連携して、授業実践に生かすために選書した本を全学年の廊下に設置。